

公開セミナー  
生と死の倫理

第8回  
since 2009

健康な女性の

卵子凍結

どなたでも参加できます。  
参加費は無料。駐車券あり。

今は仕事を優先したいけど将来は・・・

少子化対策の切り札か？

使わなくなった卵子の行方は・・・

を考える

日時:2016年6月17日(金)  
14:00~16:40  
会場:岡山大学鹿田キャンパス  
臨床第1講義室

プログラム

14:00~14:20 あいさつ

「配偶子凍結の現状と意識:全国調査から」

岡山大学大学院保健学研究科 中塚幹也

14:20~14:40

「健康な女性における卵子凍結保存に対する意識  
:生殖医療施設代表者調査2015から」

岡山大学大学院保健学研究科  
博士前期課程 薬師地仁美

14:40~15:10

「社会的適応による卵子凍結が  
必要な理由」

医療法人オーク会 中村嘉孝

15:20~15:50

「凍結配偶子をめぐる裁判例」

名古屋経済大学法学部 穴戸圭介

15:50~16:20

「商品としての凍結配偶子」

岡山商科大学法学部  
栗屋 剛

16:20~16:40 総合討論



「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム

岡山大学大学院保健学研究科 育成プログラム事務局

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1

Phone & Fax:086-235-6538

E-mail:josan@cc.okayama-u.ac.jp

助産ネットURL: <http://www.okayama-u.ac.jp/user/josan/index>

平成28年度科学研究費補助金基盤研究(B)  
配偶子・性腺凍結保存に伴う「生殖年齢の変化」  
「商品化」に関する学際的研究(代表者 中塚幹也)

